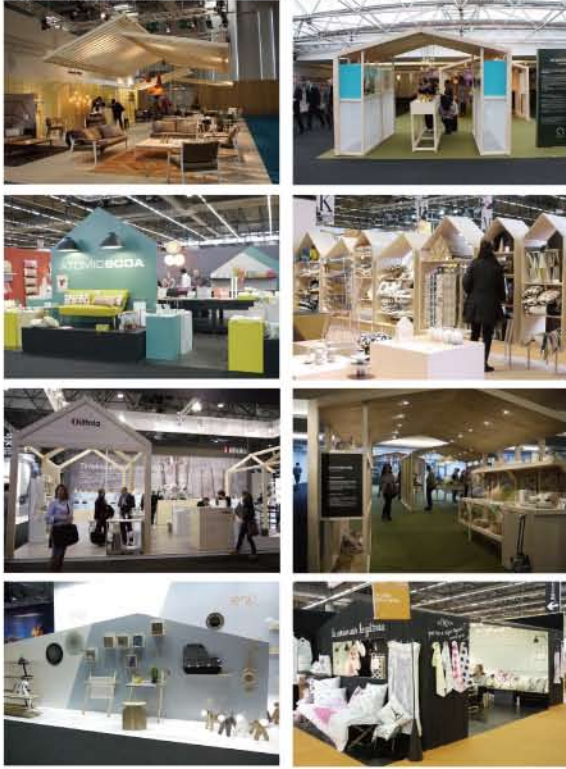


DISPLAY

Houseのフォルムに注目!ディスプレイでは,maisonを意識したブースの外観が新鮮



Color System

配色の魅せ方に変化あり!近似色相のグラデーションが素敵/音で表現する新しい手法も楽しい試み



CELC(ヨーロッパリネン連盟)

欧州の亜麻(リネン)と大麻(ヘンプ)の生産や工程を含む全ての過程の業者を集めたヨーロッパの唯一の農産業組織



\*デコオフでは67社のうち29社がリネン素材を使用,メゾンでは160社がリネン素材を使用

■今年、新しく見えて来たカラーは、オレンジ系と言えると思う。また、グレー系は明度差や色相差を付けた、グラデーションでの見せ方が新鮮だった。ブルー系は引き続き多く見受けられたが、今年はターコイズブルーとイエローグリーンとのコーディネートが新しい。また、環境視点がトレンドカラーにも影響を与えだしていると感じる。このことから昨年のアッシュカラーは、今年はエシカルカラーとして捉えたい。

オレンジのバリエーション

暖色の流れとして、昨年のベリー系からオレンジへの変化を見る事が出来た。ソフトなものから強いものまで、幅広く展開されている。アイボリー〜ベージュまでの組み合わせが今年風。



グレーグラデーション

グレーのグラデーションが、多く見受けられた。明度差を大きく付けたものや、色相を少しブルーやグリーンに振ったものとの組み合わせが、新鮮に映った。



エシカルシックカラー

自然のイメージの優しいアッシュカラーが、昨年から引き続き増えている。素材にも、皮革・陶器などにも広がりを見せている。染料チョイスもエシカルな観点で、大切な要素として考えられているケースが多いようである。



ターコイズブルーの広がり

ここ3年程ブルー系色のトレンド色傾向が強い。今年はターコイズブルーとイエローグリーン&グラスグリーンとの組み合わせによる、春のイメージが強い提案が多かった。

